

「音遊び②～自然の音を体験しよう～」

1 ねらい

- (1) 水の音等、自然の音を体験して、その音の方向に視線を向けたり、聞いている様を見せたりする。
- (2) 隣の友達に視線を向けたり、手を伸ばしたりして、かかわろうとする。

2 活動内容

時間	学習内容	支援上の留意点
14:15	1 始めのあいさつをする。	・高2生徒を指名する。
14:16	2 ドレミの歌を歌う。(2回) ※伴奏：〇〇先生	・たくさんの友達とかかわりをもてるよう、できるだけ他学年の友達と並ぶ。「シは～」の部分で手をつなぐ等、かかわりをもつ場面をじっくりとる。その際表情等を確認もしていく。
14:21	3 今日の学習について聞く。	・前回同様の活動をすることを伝える。
14:25	4 自然の音を体験する。 ・雨の音を体験する。 ※待っている生徒は学習室に移動して、手遊びDVDで触れあう。(学習室にて) ※S・Sは多目的ホールで待機とする。	・透明ビニールシートの下に生徒が3人一組になり、教師がじょうろで水をシートにかける。(きりふきを使って、水の感触も味わう。) ※シートに水をかける役：〇〇先生 補助(たらい持ち等)：〇〇先生 (K・Tはペアの教師で見える) ・友達に視線を向けたり、触ったりすることができるよう、できるだけ近づく。 ・音に気づいたり、どのような表情や体の動きをしたりするか、静かに見守る時間を設ける。その際、水をかける音のリズムにも強弱をつける。 ・音の変化に気づきやすいよう、たらい等に水をかけ、様々な音を出す。 ・シートから水が落ちてきたときに生徒にかかってしまわないよう水を受け止める位置に注意する。
14:45	5 音楽鑑賞をする。 「浜辺の歌」	・道川の海を見て、作られたことを伝える。 ・音に対して、どのような様子なのか、観察しながら見守る。
14:50	6 感想を教師と一緒に発表する。	・できるだけ気持ちを引き出すことができるよう、体験コーナーでの様子や感じたこと等を問いかけながら行う。
14:55	7 終わりのあいさつをする。	・高2生徒を指名する。

3 準備物

- ①青ビニールシート ②透明ビニールシート ③じょうろ ④たらい2 ⑤きりふき
⑥ポール4 ⑦クラビノーバ ⑧ドレミの歌歌詞カード ⑨手遊びDVD ⑩テレビ
⑪ついたて ⑫手ふき多数 ⑬ぞうきん多数

4 評価

- (1) 自然の音体験の教材・教具は生徒にとって有効であったか。
- (2) 生徒同士がかかわる姿が見られたか。